

# 令和7年度学校自己評価システムシート（県立上尾南高等学校）

目指す学校像	自分らしく未来に生きる力を育てる 一人一人が輝く学校
--------	----------------------------

重点目標	1 授業や探究的な学びを通じて、生徒一人一人に確かな学力を身につけさせる 2 キャリア探究活動を通して、生徒の個性や可能性を伸ばし、主体的な進路実現を支援する 3 生徒一人一人が役割や居場所を実感できる機会を提供し、達成感や充実感を自信と誇りにつなげる 4 教職員が責任と誇りをもち、保護者、地域と共に学校の魅力化を進める
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 （ 1 月 3 1 日 現 在 ）				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝活、少人数学級編制、習熟度別少人数授業（英数）等で学習習慣の定着と基礎学力向上を図っている。</li> <li>1人1台端末を使った授業を実施し、ICTを活用した授業改善を推進している。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自発的に学習する生徒が少ないため、自主的な学習習慣を身に付けさせる仕組みの整備が課題である。</li> <li>研究授業や相互の授業参観を活発に行い、質の高い授業ができるように、指導力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習習慣の定着と基礎学力の向上</li> <li>○ICTを効果的に活用した指導法の研究と組織的な学習支援体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①朝活の運用の工夫、授業改善等主体的・対話的で深い学びを実現し学習習慣の定着を図る。</li> <li>②キャリアパスポートを活用し、自らの学習状況を把握させる。</li> <li>③探究活動、検定試験の推奨、模擬試験の活用で、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校評価アンケート「予習・復習をしている。」50%以上。</li> <li>②キャリアパスポートへの記録(通年)と学期毎に振り返りを実施。</li> <li>③探究発表会の実施。模擬試験結果の向上。</li> </ul>	<p>学習力を図る指導が概ね達成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業アンケート「予習・復習をしている」35.0%</li> <li>②学習の振り返りを実施し、基礎学力の向上を図った。</li> <li>③模擬試験では、1、2年で学力到達度が上昇。特に、1年英語、2年数学・英語が顕著であった。</li> </ul>	b	<p>基礎学力テストにおいて、1・2年ともに成績の伸びが見られた。年々基礎学力の向上が図られている。また、「予習・復習をしている」生徒が約3分の1となっており、家庭学習の習慣が定着すれば、さらに向上が期待される。</p> <p>ICTの活用に関しては、職員研修会や授業参観を通して、効果的な活用について定着しつつある。1月に職員研修会を実施したが、今後も研修を積み上げていきたい。</p>
2	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の適切な進路実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を行っている。</li> <li>学校推薦のほか、総合型選抜入試で進路を決定している生徒が増加している。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒や保護者へ適切な情報提供。</li> <li>総合型選抜の対策を進路指導部と学年が計画的に行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人一人の進路希望の実現に向けた計画的・組織的な進路指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①計画的な進路指導を実施し、生徒の進路を実現させる。</li> <li>②総合型選抜入試で合格できる力をつける学力向上講座や個別指導を実施する。</li> <li>③就職希望者に対して、企業研究・面接指導を実施する。</li> <li>④学年・アンビシャス委員会が連携し、総合的な探究の時間の指導内容の充実を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路未決定者数を0に近づける。</li> <li>②毎学期中・長期休業中の学力向上講座の実施。大学短大の現役進学者数の増加。(R6 79人)</li> <li>③学校評価アンケート「進路指導に満足している。」90%以上。</li> <li>④就職希望者の内定率100%。</li> </ul>	<p>計画的組織的進路指導を概ね達成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①進路未決定者数16名。(1月31日現在。一般受験含む)</li> <li>②学力向上講座は、英検や小論文を中心に開講した。大学・短大進学者数80名。就職内定率85.7%</li> <li>③「進路指導に満足している」96.0%</li> </ul>	b	<p>3年の進路指導については、進路指導部・学年が連携し、面接指導や小論文の指導をすることができた。進路指導の満足率も高い。未決定者に対しては、学年末まで、個別に丁寧に対応していきたい。</p> <p>学力向上講座については、引き続き生徒のニーズに合わせて開講するようにしたい。</p>
3	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全職員の共通理解のもとで、生徒指導を実施し、落ち着いた環境を整え、地域から生徒指導ができて学校という評価を得ている。</li> <li>中高連携や部活動体験、ボランティア等で生徒が活躍している。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が充実した学校生活が送れるよう規律の徹底と多様な生徒に対する継続的な生徒指導を行う。</li> <li>学校行事等で活躍できる場を増やし、リーダーシップや自己有用感の育成が課題である。</li> <li>交通安全指導を徹底し、交通マナーの向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりに寄り添った丁寧な生徒指導の実践により、生徒が主体的に基本的な生活習慣の確立を図るための支援</li> <li>○生徒の主体的な活動の支援による部活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒会の挨拶運動と日頃の生活指導により、挨拶の励行。</li> <li>②学期ごとの整容指導で身だしなみが整った学校生活の実現。</li> <li>③学期ごとの校外交通安全立哨指導、自転車安全運転講習会等の実施で交通安全マナーの徹底と事故防止。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校評価アンケート「挨拶がきちんとできている。」90%以上。</li> <li>②学校評価アンケート「服装や頭髪について規則を守っている。」90%以上。</li> <li>③学校評価アンケート「自転車のマナーを守り、交通安全を守っている。」100%。</li> </ul>	<p>全職員による生徒指導をほぼ達成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「挨拶がきちんとできている」94.0%</li> <li>②「服装や頭髪について規則を守っている」95.0%</li> <li>③「自転車のマナーを守り、交通安全を守っている」97.0%</li> </ul>	a	<p>生徒指導に関しては、全職員共通理解のもと、基本的な生活習慣の確立に向けた指導を行うことができた。挨拶、服装・頭髪・交通マナーについては、90%を超える生徒ができていますと回答している。しかし、交通マナーに関しては、自転車通学が多いこともあり、近隣の方からマナーアップをしてほしいという要望がある。命を守る観点から、いっそう交通安全教育に力を入れたい。</p> <p>部活動については、多くの中学生と連携した活動ができた。</p>
4	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な生徒募集活動で、学校説明会等の参加者を増加させている。</li> <li>HPやメール配信等により、地域・保護者に学校の魅力の情報発信を行っている。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の学校や自治会等との連携をいっそう強化し、地域に愛される学校を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭や地域等への積極的な情報発信と連携・協力の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①オープンスクール、学校説明会等における魅力ある学校のPR。</li> <li>②HPによる学校の情報発信を積極的に行い、更新回数を増やす。</li> <li>③地域に貢献するため、他校種との交流や地域のボランティア活動に積極的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校説明会参加者数の延べ2100名以上。(R6 1993名)</li> <li>②HPトップページの更新回数を年間70回以上、HPのアクセス数月平均70,000回以上。</li> <li>③市内中学校との授業交流や上尾特別支援学校と上尾南分校との交流の実施、地域との連携事業の実施やボランティア活動への参加。</li> </ul>	<p>広報活動は概ね達成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校説明会参加者延べ2060名。</li> <li>②HPトップページを202回更新。アクセス数月平均約66,000回。</li> <li>③中学校学習ボランティア6名。中新井自治会夏祭りボランティア19名、敬老会に50名参加。上尾かしの木特別支援学校との交流会を10月に実施。生徒会生徒と3部活動の生徒が参加した。</li> </ul>	a	<p>広報活動に関しては、説明会の参加人数が昨年より微減した。(昨年比-5.5%)HPに関しては、更新回数を増やすことができた。アクセス数は、昨年より1割程度減少したが、11月からは1か月で100,000を超えている。ボランティアについても、多くの生徒が参加できた。</p>

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	4名

学校関係者評価
開催実施日 令和8年2月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>学校アンケートにおいて、ICTを活用している割合や、授業満足度が高いのは評価できる。また、探究学習にも力を入れて取り組んでおり、生徒の考えを広げることにつながっている。生成AIの活用については、導き出されたものを、授業等の場面で、どのように活用していったらよいのかなど、ネットリテラシーを向上させることが、これからは求められているので、研究をしていってほしい。</p> <p>進路指導に関して、進路指導への満足度が高いということは高く評価できる。担任の先生方が、生徒により高い目標を持たせるべく、真剣に関わっていただいている。進路選択について、可能性を狭めないように、今後も、生徒とのかかわりを大切にしていってほしい。また、ICTを適切に活用することも効果的なので、今後検討をしてほしい。</p> <p>生徒指導に関しては、落ち着いた生活環境が整えられており、しっかりと挨拶ができる点は評価できる。また、生徒一人ひとりをよく見て、個に合わせた声掛けをしたり、基本的な生活習慣については、身に付くまで、徹底的に指導をしたりなど、日頃の指導の成果が現れているものと思われる。また、生徒指導の場面で、生徒が納得するまで、丁寧に説明することも大切なので、今後もこの方針を大切に、指導をしていってほしい。</p> <p>HPなどで、地域や保護者に積極的に情報発信をしている点や、地域の学校や自治会との連携に取り組み、地域に根ざした学校を目指している点は評価できる。今後も、学校の教育活動の積極的な発信に、力を入れていってほしい。また、生徒の視点を入れた情報発信の方法について、今後検討していってほしい。</p>

